

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会  
所属：志政クラブ  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野 2-2-22  
☎042-724-2127



双方向の情報交流

## 分譲地販売紹介者に報償金

愛知県豊川市では、行政の部署に専門の担当部（企業立地推進部）を置き、企業の誘致や企業の拡大再投資から雇用促進までを幅広く対象とされていました。さらに、大掛かりな埋立地の分譲まで手がけているのが特徴でした。その土地分譲に際して、購入企業を探してくれた場合には、その対象者に 1% の報奨金を支払う制度（誘致情報提供報奨制度）を導入していました。従来、県の行う報奨金制度(1%)にあわせて、合計 2% が紹介者に支払われることになっていました。

この地域は三河湾に接する地形ですが、内海の形になっていることで津波の被害のリスクは少ないように見られますが、大規模の工場を建設する事業者を誘致するには、様々な施策が追加的に必要になるのでしょうか。

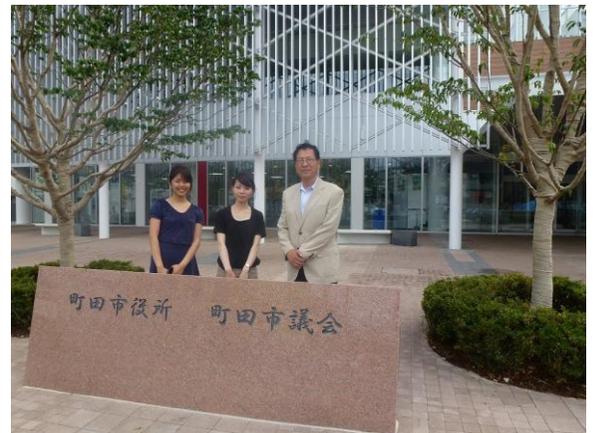
既に、御津 2 区というエリアの大半に大小の工場が進出して操業中であり、御津 1 区のエリアは現在整備中の部分と分譲を開始したスペースがありました。私たちにそうした両方を見せていただいたのは、自治体 PR の一環かも知れませんが、企業感覚にも通じた意欲と意識がありました。



## 市役所移転、市議会も引越

町田市役所が、7 月 17 日より森野 2-2-22（町田市民ホール横）に全面移転しました。市役所の代表電話（042-722-3111）は変更がありません。市議会も同じ建物の 3F に移り、本会議は第 3 定例会（8 月 31 日初日）より、それ以前の委員会の会議は新議事堂内で行われます。ただし、委員会のネット中継は第 3 定例会分からは開始となります。所属会派（志政クラブ）での仕事は、この 7 月 17 日から全面的に森野に移動しました。

## 市議会は行政と対等の考え



この場所は、町田市新庁舎玄関の前です。真新しい石製看板が設置されていますが、「町田市役所」と「町田市議会」の名称が等しく並びました。市議会の行政への独立性を示す意味で、新たに設置したものです。

写真はインターン生の濱田裕子さん、矢島見依子さんと一緒に、新庁舎が一部開庁した時点で、町田市庁舎に来た時のものです。

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

# 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

## 文学館で俵万智展を見学

(以下はインターン生のレポートの抄文です)



町田市民文学館で催されていた歌人の俵万智さんの記念展に足を運びました。私は恥ずかしながらも彼女のことをよく存じ上げず、初めて作品を目にする機会となりました。俵さんの短歌は力を入れずに読める女性らしいやわらかい歌であり、家やカフェなどでのんびりとくつろぎながらゆっくり読みたいような歌ばかりです。また、恋愛中の女性のちょっとした気持ちがあっさりともどこか深く、とてもきれいに短歌となって読まれています。俵万智さんの日々の生活が恋愛によってワクワクしたものになっている様子が見え、今まで遠い存在だった短歌が楽しく詠めて、五七五七七の31文字で他人の共感や説得を誘える俵さんの短歌は私の生活に近く感じました。伝えすぎないから色々な人のケースに合わせられる、文字が少ないからそこから想像が膨らむ、短いから心に留まるといった魅力が短歌にはあると思います。俵さんの五七五七七のリズムはどこか斬新で、多くの人に好かれる理由がわかりました。7月6日はサラダ記念日ということでその日はTwitter やラジオでも俵さんのことで盛り上がっていました。

(第30期研修生 濱田裕子 津田塾大3年生)

## 俵万智さんとサラダ記念日

(以下はインターン生のレポートの抄文です)

町田市民文学館では町田市にゆかりのある文学者についての展示を行っていました。今回の展示は俵万智さんでした。俵さんといえば、「サラダ記念日」の一節が大変有名で、私たちの世代には恋愛の歌を多く詠むというイメージがあります。しかし今回の展示で印象的だったのは、お子さんのことを詠んだ詩でした。子どもができてからの心情の変化、成長の喜び。東日本大震災の直後に詠まれたものには、母親としての責任、使命が強く感じられ、圧倒されてしまいました。詩という短い字数の中で絶妙な表現を繰り返す俵さん、改めてすばらしいと感じました。

私はまだ、明確にどのような職業に就きたいかは決まっていません。この研修を通して、まずはどんなことにも共通して必要な「人との関わり」を学んでいけたら良いなと思っています。



夕食の際に頂いたサラダはもちろん美味しく、良い「サラダ記念日」となりました。

(第30期生 矢島見依子 成城大学3年生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)